2024 年度　長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	環境と社会（Environment　and　Society） 2013-0-13-038					担当教員	樋口　圭治 （ヒグチ　ケイジ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

①　授業のねらい・概要
環境問題の知識を身につけることを目的とする。環境問題の知識を得ることは、自分の生活や人間の経済活動が環境に及ぼす影響を理解することにつながる。本授業では、主要な環境問題の実態についての知識、および、課題や対策について考える力を身につける。
②　ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力 情報収集・分析能力
③　授業の進め方・指示事項
・テキスト（教科書）を使用する。使用するテキストの詳細は、下記の「⑥テキスト（教科書）」を確認すること。授業にテキストを持参すること。 ・必要に応じて資料を配布する。
④　関連科目・履修しておくべき科目
⑤　テキスト（教科書）
東京商工会議所編著（2023）『改訂 9 版 環境社会検定試験 eco 検定公式テキスト 』日本能率協会マネジメントセンター ＊改訂 10 版が出版された場合には、そちらを購入すること。
⑥　参考図書・指定図書
東京商工会議所監修（2023）『2023 年版 環境社会検定試験 eco 検定公式問題集 』日本能率協会マネジメントセンター ＊2024 年版が出版された場合には、そちらを参考とする。 環境省『環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書　令和 6 年版』
⑦　評価Ａに対応する具体的な学習到達目標の目安
（ｉ）主要な環境問題を理解するための基礎的知識を身に着けることが理解できるようになる。 （ⅱ）主要な環境問題の実態について、他者に説明できるようになる。

⑧　ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
（ⅰ）主要な環境問題を理解するための基礎的知識を身に着けることが理解できるようになる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、教科書で取り上げた環境問題の事例の課題を解決するための提言ができる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、授業で取り上げた環境問題の事例の課題について説明できる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、授業で取り上げた環境問題の事例について説明できる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、授業で取り上げた環境問題の事例について、教員の支援があれば説明できる。	授業で学んだ環境問題に関する基礎的知識を使用して、授業で取り上げた環境問題の事例について、教員の支援があっても説明できない。
（ⅱ）主要な環境問題の実態について、他者に説明できるようになる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題の指摘と課題解決のための提言ができる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題を指摘することができる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景について、説明することができる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景について、教員の支援があれば、説明することができる。	環境問題に関する新聞記事の内容の背景について、教員の支援があっても説明することができない。

⑨　学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加･意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%			30%		100%
（ⅰ）主要な環境問題を理解するための基礎的知識を身に着けることが理解できるようになる。	25%	10%			15%		50%
（ⅱ）主要な環境問題の実態について、他者に説明できるようになる。	25%	10%			15%		50%
フィードバックの方法	小テストは採点後、解説の時間を設ける。						

⑩　担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
丁寧な解説と分かりやすい授業資料や映像の活用を行う。

⑪　授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する	60 分
2	第１章　持続可能な社会に向けて	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	120 分
3	第２章　地球を知る ２－１　地球の基礎知識	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	240 分
4	第２章　地球を知る ２－２　今地球で起きていること	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	180 分
5	第３章　環境問題を知る ３－１　地球温暖化と脱炭素社会	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	180 分
6	第３章　環境問題を知る ３－２　エネルギー	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	120 分
7	第３章　環境問題を知る ３－３　生物多様性・自然共生社会	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	180 分
8	第３章　環境問題を知る ３－４　地球環境問題	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	120 分
9	第３章　環境問題を知る ３－５　循環型社会	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	120 分
10	第３章　環境問題を知る ３－６　地球環境問題	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	180 分
11	第３章　環境問題を知る ３－７　化学物質 ３－８　災害・放射性物質	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	240 分
12	第４章　持続可能な社会に向けたアプローチ	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	240 分
13	第５章　各主体の役割・活動 ５－１　各主体の役割・活動と パブリックセンター	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	120 分
14	第５章　各主体の役割・活動 ５－２　企業の環境への取り組み	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	120 分
15	第５章　各主体の役割・活動 ５－３　個人の行動 ５－４　ＮＰＯ、各主体の連携 第６章　エコピープルへのメッセージ	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	240 分

⑫　アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。新聞記事などを用いた現実の現象説明への応用にも取り組む。 小テストを行い、場合によっては小テストの結果をもとに議論を深める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬　実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性